

平成 28 年 10 月 4 日

3 年生保護者 様

新見市立哲多中学校

校 長 梶川 克紀

平成 28 年度第 3 学年
全国学力・学習状況調査（平成 28 年 4 月 19 日実施）の結果について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校教育の推進に、ご理解とご協力をいただき、感謝いたします。

さて、本年 4 月に実施しました「**全国学力・学習状況調査**」の結果につきまして、その概略を文書にてご報告いたしますとともに、個人票を配布いたしますので、各ご家庭での指導のご参考にしていただきますようご案内いたします。

記

1 到達度について（正答率％）

教 科	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
本校平均正答率	80.3	71.2	73.7	55.1
全国平均正答率	75.6	66.6	62.2	44.1

2 各教科ごとの分析

教科	すぐれている点 改善を要する点	対 策
国 語 A	・すべての領域で全国平均を上回っている。 ・話すこと・聞くことに優れている。 ・無回答が少なく意欲が感じられる。 ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う力が弱い。	・語彙力を高めるため、文章を書いて応用力を身につける。
国 語 B	・すべての領域で全国平均を上回っている。 ・国語への関心・意欲・態度が高い。 ・目的に応じ、必要な情報を読み取ることができる。 ・無回答が少なく意欲が感じられる。 ・文脈の構成を捉えたり、目的に応じて文章を要約したりする弱い。	・様々な文章を読み、内容の理解力を高める。

数 学 A	・すべての領域で全国平均を上回っている。 ・数と計算の分野や、数量や図形についての技能が特に身につけている。 ・無回答が少なく意欲が感じられる。	・不得意分野の問題を繰り返し行うことで、理解を図り定着させる。
	・一元一次方程式の意味が理解できていない。 ・垂線の作図の仕方が定着していない。 ・関数を苦手としている生徒が多い。	
数 学 B	・すべての領域で全国平均を上回っている。 ・全国に比べると、数学的な見方・考え方に優れている。 ・無回答が少なく意欲が感じられる。	・説明力をつけさせるため、アクティブラーニングを授業に取り入れ、互いに説明しあい、理解を深めていく。
	・一次関数が苦手な、条件をもとに、表から数量の変化や対応の特徴を捉える力が不足している。 ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることが苦手である。 ・グラフの読み取りが苦手である。	
生 徒 質 問 紙	・学校の規則や友達との約束をよく守る。 ・家で自分で企画を立てて学習している。 ・学校に行くのが楽しい、友達に会うのが楽しい、好きな授業がある。 ・学級みんなで協力し何かをやり遂げたことがある ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。 ・毎日の学習時間や予習・復習をする時間が少ない。 ・生徒の30%が平日2時間以上、スマートフォンやインターネットに費やしている。 ・半数近い生徒がテレビやビデオ・ゲームに平日3時間以上費やしている。	・生徒会の取り組みのノーメディアデーを意識させ、時間を管理させ、時間を有効に使えるようにさせる。 ・予習・復習の時間を増やすことができるよう各教科で、予習・復習の方法を確認し、課題などにし確実に取り組ませる。

3 全国学力・学習調査後の生徒の取り組み

- ・個人票を面談と共に返却し、学習の仕方や時間の使い方を振り返る。
- ・個人票をもとに生徒自身も学力・学習調査を分析し、何を復習すべきなのか学習の見通しを立てる。
- ・eライブラリを活用して苦手な項目の復習に取り組む。